

# 翔たけ

題字 小笠原 孝

第 23 号

平成27年10月1日

発行

一般財団法人

小笠原アカデミー

教育振興財団

㈱テーオー小笠原

本社(総務部)

〒041-0821

函館市港町3-18-15

事務局(連絡先)

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396



株式会社 エスイーシー  
代表取締役社長 永井 英夫

日本の競争力について思う

最近、気になるもの一つに日本の競争力がある。「薩摩がどう、長州がどうと言っている場合じゃない！日本としてどうあるべきなのか、ではないのか！」龍馬伝のなかで坂本龍馬が発したという印象的な言葉である。

最近目にしたいくつかの国際比較データや情報を、もし坂本龍馬が目にしたら、いったい何と言ったであろうか？

スイスのIMD(国際経営開発研究所)による国際競争力ランキングにおいて、日本は二〇一五年度では二七位に位置している。このランキングは、政治・経済・ビジネスの効率性・インフラの四分野の総合評価によって決定されている。かつて日本の国際競争力は、一九九三年には第一位、二〇〇三年で第三位だった事を考えると競争力が著しく低下してしまっただけでなく、世界はグローバル化(世界中のお金や企業・モノ・人

が繋がっている時代)によって、本来、日本の強みであったモノづくりが、製造コストの安い新興国へ流れた事が大きく影響した。その結果、日本経済は空洞化現象を起こして技術者とそれに伴う技術の海外流出を許してしまっただけでなく、大きかった。

しかしながら、もっと大きな問題は、日本の若者は夢がなく向上心が低いのではないかと言われる点である。例えば日本・米国・カナダ・中国・韓国の若者に対しての調査によると、①自分の会社・学校が好きか？に対して、「YES」と答えた割合は、カナダ・米国・中国・韓国・日本の順であった。②将来偉くなりたいか？に対しては、「YES」と答えた割合は、中国・韓国・米国・カナダ・日本の順であり、二つの質問に対していずれも日本の若者は最下位となっていた。又、日本の若者の内、偉くなりたいと思わないと答えた若者の主な理由は、

「偉くなると責任が多くなって損」や「何の責任もなく楽しくやれば良い」等となっている。そして日頃の暮らしについての調査では、日本の若者は暮らしている収入があればのんびりと暮らしていきたいとする割合が、他の四カ国の若者より圧倒的に多かった。

いかがでしょうか？「学校教育が悪い！政治が悪い。」と批判する人、「最近の若者はなつとらん。」と嘆く人もいるかもしれませんが、これが現実です。こういった傾向は、日本から海外への留学生の減少にも表れているように、日本人学生の「内向き」傾向や外国へ出るリスクへの恐れを反映しているものと思われる。現在の日本の若者は温室で育てられ、豊かな生活の中でハングリ―精神を持たなくなりました。しかし、この点については、生活の質や存在価値の違いを主張する若者もいるようである。

そういった状況を受け、我々経営者(指導者)は、若者が「やる気」をだすような夢や将来に対するビジョンをしっかりと示す必要がある。

現在、経営者となった自分が管理職だった過去を振り返って見て、さて、自分は若手社員に対して毎日イキイキとした仕事ぶりをして

見せていただろうか？又、将来に對する夢を語っていたらどうかと考えると反省するところが多い。

そういった過去の反省を基に若者に対して「やる気」を起こさせるにはどうすればよいかであるが、それは一つの目標に対して皆が協力し、それが達成できたならばその先には良い事があるんだよと教える事である。指導とは指さし導くと書きます。指さすとは方向を指し示す、方針を明らかにすることである。したがって、経営者(指導者)は指さす彼方に夢と希望が満ちあふれていることを示すことがきわめて重要である。

私は、若者(若手社員)に対して知識やスキルなどはかりではない、「夢を持つこと」そして、「その実現に向けて努力する意味・価値」を語り伝えていきたいと思う。五、十年後はまた更に異なる環境変化が起こっているであろう。その変化に対応できるかどうかは、我々の意識と行動一つで日本の持つ競争力も大きく変わってくるであろう。

さあ、共に頑張り前進していきましょう。

結びに、青少年の育成に尽力されておられます小笠原アカデミー奨学財団関係者の各位のますますのご発展と、ご活躍を心から御祈念申し上げます。





## 生涯スポーツを目指した学校体育

全道学校体育研究大会

函館大会を通して

函館市立柏野小学校 校長 戸澤和彦

少し前の話ですが、平成二十三年三月、国会においてスポーツ基本法が成立しました。このスポーツ基本法では学校における体育の充実について、スポーツに関する技能及び生涯にわたってスポーツに親しむ態度を養うことを重視しています。その重要な役割を担うものとして、体育に関する施設の整備に加えて、指導の充実を挙げています。学校体育においてもスポーツ文化享受能力の基礎を培い自分に合ったスポーツライフを営むことができるようにするため、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が求められています。しかしながら、本道の子どもの現状は、全国体力・運動能力調査の結果から体力低下の傾向が顕著になっているところでは、以前から様々な方面で指摘されてきたところです。環境の変化による子どもの遊び場の減少、少子化等による遊び集団づくりの困難さ、ゲーム等による子どもの遊びの変化、それらに加えて厳しい

冬期間、広大な大地での車利用頻度の高さ等、本道の気候的、地理的特徴も要因の一つになっているように思います。そのような状況の中、運動量の減少、運動嫌いの増加、運動する子としない子の二極化などの問題が指摘されているところですが、こうした子どもたちの現状を改善していくためにも学校体育の果たす役割も重要になっていきます。

私たちは体育研究を進める函館市小学校体育研究会に所属しています。その中では、子どもたちが生涯スポーツの基礎を身につけ、運動の楽しさを味わい深めながら、自ら進んで運動を行い、生活の中に取り入れていくことを目指して研究を積み重ねてきました。その成果は毎年研究会の事業として、研究授業の公開、出前講座、研究紀要の発行などを通して函館市及び全道へ発信してきました。全道への大きな発信の機会としては全道各地の持ち回りで開催する全道大会があります。この度の第五十一回北海道学校

体育研究大会函館大会は、函館にとって十年ぶりの大会でした。この十年間積み重ねてきた研究の成果を「運動に魅力を感じ、自ら学び、高め合う体育活動の創造」のテーマのもと、公開授業や研究発表を通して全道に発信しました。また、幼稚園協会と中体連の協力のもと、八授業、一保育、八つの研究発表と二つの全体発表を行いました。さらに、文部科学省の調査官による講演会も開催し、内容の濃い大会となりました。全道各地より三百名を超える参加者がありました。参加の方々からは高い評価を受けることができました。

体力低下の現状を改善し、子どもたちが健全に育ち、生涯を通じて健康で豊かな生活ができるようにすることは、私たちにとっての責務であると考えています。そのためにも、生涯スポーツを目指したカリキュラムの開発や授業づくりについて、今後も実践的研究を進めていきたいと思っています。

小笠原アカデミー教育振興財団には大会の運営について大きなご支援をいただき深く感謝致します。今後とも函館市の子どもたちのよりよい成長のために、教育の振興に力を尽くしていただくとともに貴財団のますますのご発展を祈念申し上げます。

## 平成27年度の新規奨学生 5人に!

平成27年度の新規奨学申請がそれぞれの大学・高校・専門学校より、成績優秀で向学心に富んだ生徒さんの推薦をいただき、当財団の理事会、評議員会において5名が決定いたしました。平成27年度上期の奨学金貸与支給は7月17日に小笠原潔、業務執行理事より直接手渡しされました。

(右写真)

〈創立当時よりの総数は180名となりました。〉



一般財団法人  
小笠原教育振興財団

## 教育機関(学校)に助成金贈呈



真新しい卓球台で楽しむ生徒たち

### 「湯川小へ体育の教材費として20万円を助成」

湯川小学校は平成27年の7月より翌年の2月にかけて体育館の改装工事中である。体育館の使用が出来ないが、体育教育に支障をきたす事のないよう、代替として、校内の一角に卓球台を設ける必要があった。これを受けて教材購入費用を助成しました。

土谷敬校長は「子どもたちが運動を楽しめる環境を作っていきたい」と謝辞!

### 「理科教育研究会、函館大会に助成」

平成27年度の助成金贈呈式を8月7日函館市役所で行われた。市中学校理科教育研究会が10月に深堀中で開催する北海道中学校理科教育研究会の資料作成費として10万円を贈りました。岡野伸二深堀中校長は「有効に使い、中学生に理科の面白さを伝えたい」と謝辞を送られました。



岡野校長・小笠原理事長・土谷校長・山本良子(市教委課長)



### 「戸倉中吹奏楽部・全国大会出場に助成金」

第62回全日本吹奏楽コンクール(H26.10.25・名古屋)に出場する戸倉中(北海道大会金賞・本岡珠理部長)に大会遠征に役立ててもらおうと小笠原理事長より助成金20万円を贈呈され、頑張ってくださいと激励された。部員は「蝶々夫人」を披露し、健闘を誓った。



### 「高丘小吹奏楽・全国大会遠征費用に助成」

第20回日本管楽合奏コンテスト(H26.11.3・東京)に初出場する高丘小吹奏楽部(高橋実佑部長)に遠征費用として10万円を贈った。小笠原理事長は「成果をしっかりと出せるようにとエール…」生徒たちは、本番で演奏する「マザーマ〜太平洋北部の伝説」を披露した。

一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

平成27年度 役員名	
役職名	氏名
代表理事(理事長)	小笠原 孝
副 理 事 長	小笠原 弘
常務執行理事(事務局長)	小笠原 謙
理 事	野 又 隆
理 事	安 島 進
理 事	橋 本 守
理 事	川内谷 繁三郎
理 事	村 田 亮二
理 事	竹 内 行雄
監 査	齊 藤 一 雄
監 査	平 野 利 明

平成27年度 評議員名	
小笠原 正	
小笠原 康正	
齊 藤 良 昭	
丹 嶋 子	
坂 野 功	
庄 河 澄 枝	
羽 根 田 茂 弘	
小笠原 勇 人	
野 村 辰 男	
成 田 豊	
野 口 時 敏	



平成27年度 定時総会にて挨拶する小笠原孝理事長 2015・6・25

# 一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団

事務局／(株)テーオー小笠原本社 連絡先／函館市海岸町9-18 ☎0138(84)5396

株式会社テーオー小笠原の創業者、故、小笠原亀吉翁の意志でもある青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」の具現化のため、昭和55年に小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として、(財)小笠原アカデミー奨学財団を設立いたしました。

初代理事長は、故、小笠原金悦、二代目理事長は小笠原孝となり、今日までに相当数の奨学金を貸与して参りました。受給された奨学生には、教師の道を選ばれ、教育現場で指導者として歩まれた方、社会の第一線で活躍されてる方々が数多くおられます。

その後、基金の増額として「故、小笠原幸子（小笠原孝夫人）の遺産の一部の寄付金等によって更なる充実を計り」、平成24年には一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改めました。また、新たに教育機関等への助成金を加えまして、一段と社会貢献に努めて参ります。

理事長 小笠原 孝

## 諸君の可能性を咲かせよう

### 向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

#### 【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

#### 【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
  - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
  - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

#### 【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

#### 【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年:4月1日～5月末日まで

### 教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

#### 【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

#### 【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を30万円とする。

#### 【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1. 事業名称・代表者名
- 2. 事業及び費用の概要・収支計画書
- 3. 行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

#### 【例1】

- 〇小学校□□部 全国大会(東京)へ出場が決まりましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

#### 【例2】

- 〇中学校□□研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

#### 【例3】

- 〇教育団体の□□教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396